





持続する成長と 新たな価値提供をつうじて、 社会的意義と存在感を高めます。

アニコム ホールディングス株式会社
代表取締役社長

小 森 伸 昭

2013年度（平成26年3月期）決算につきまして

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2013年度決算につきまして、ご報告いたします。マクロ的な外部環境としては、政府・日銀による財政・金融・成長戦略等により企業業績や雇用環境の改善が進む期待が高まるほか2020年の東京五輪開催も決まるなど明るいニュースも増えてきましたが、一方で消費税増税による消費マインドへの影響のほか、国外に目を向けても、新興国経済の鈍化や東アジア地域の関係、TPP交渉など先行きは未だ不透明な状況と認識しています。一方、ミクロ的な外部環境としてペット関連市場を振り返りますと、これまでの傾向からそれほど大きな変化はなく、マクロ経済環境の変化による影響は限定的な業界であると認識しています。生体の販売頭数はここ数年微減を続けており2013年度もその傾向は変わりありませんでしたが、当社グループの中核事業であるペット保険市場は順調に市場を拡大し、成長を続けております。
それでは2013年度において取り組みました当社グループの主要な3つの重点施策と業績についてご説明いたします。
1つ目の施策は、ペット保険事業における損害率のコントロールです。2010年10月に顧客還元を高める施策として、90%・70%補償商品の投入や、入院院の使用限度日数撤廃など、補償内容の拡大を実施しました。しかしながら、90%補償商品は適正な保険診療から大きく乖離する使用状況が散見され、全体の損害率を引き上げる要因となったため、2012年8月から新規の引受を停止し、

2013年7月をもって全ての90%補償プラン契約は無くなりました。このほか、損害率が相対的に高い募集チャネルからの引受制限、契約更改時の補償プラン選択における引受審査強化などの施策も実行することにより損害率の上昇は抑えられ、結果として2012年度のE/I損害率67.5%に対して2013年度は66.7%と、0.8ptの減少となりました。

2つ目の施策は、ペット保険事業における新規契約獲得基盤の拡大強化です。ペット保険募集の主力チャネルであるペットショップ代理店の新規取扱い店舗の開拓に加え、既存ペットショップ代理店への販売促進を一層強化した結果、新規契約獲得の増加に繋がりました。また、既にペットを飼われている方々からの加入を促進すべく、地方銀行・信用金庫等の金融機関代理店や生活協同組合、カーディーラー、職域代理店等のさらなる拡充を図るなど、募集チャネルの拡大と募集力の強化に努めました。加えて、既存契約の継続施策にも注力した結果、継続率も引き続き高い水準で安定して推移いたしました。これらの結果として、当年度末の保有契約数は50万件を突破し、504,969件となりました。

3つ目の施策であるペット保険事業に続く新たな事業のスタートについては、2つの取り組みを開始しております。1つ目として、ペット保険の健全な持続的成長を支えるべく、どうぶつ医療分野における基礎研究の推進、科学的根拠に基づく診療方法の確立、先進医療の開発に向けた臨床等を行うことを目的に、新たな子会社として「日本どうぶつ先進医療研究所株式会社（Japan Animal Specialty Medical Institute（JASMINE）」を設立し、2014年4

月の事業開始に向け準備を進めました。2つ目として、動物病院向けシステムの開発・販売等を主力事業とするアニコム パフェ株主会社において、動物病院向けカルテ管理システム「アニコムレセプター」の後継・最新版として、富士通株式会社と共同でクラウド型カルテ管理システム「アニレセF」の開発・販売をスタートいたしました。

これら施策の結果、当社グループの連結業績は、保険引受収益18,087百万円、資産運用収益108百万円などを合計した経常収益が、18,366百万円（前連結会計年度比13.5%増）となりました。一方、保険引受費用13,448百万円（同17.5%増）、営業費及び一般管理費3,982百万円（同9.6%増）等を合計した経常費用は17,633百万円（同14.9%増）となりました。この結果、経常利益は733百万円（同12.5%減）、当期純利益は447百万円（同30.1%減）となりました。

当社グループの業績は当初計画に比較し損害率改善施策の効果が一部遅行したこと、中間決算の発表時において通期業績予想を下方修正し、株主のみなさまにご心配をおかけしてしまいました。誠に申し訳ございませんでした。今後も引き続き収益性向上に向け役職員一丸となって取り組んでまいります。

予防型保険会社としての取り組み

当社グループは、ペットのケガや疾病の予防に努め、涙を減らす保険会社として新たな価値提供が行えるように、さまざまな取り組みを推進しております。その1つとして、年々増加する膨大な保険金請求データや当社グループが独自に実施したサーベイ、どうぶつ医療体制の考察など、家庭どうぶつに関わるさまざまなデータを『アニコム家庭どうぶつ白書』として毎年発行しております。白書データは、動物病院において飼い主様へのご説明に活用いただくケースや、当社グループと大学や企業との共同研究の基礎データとして利用するケースが増えており、国内における独自の疫学データとして、予防啓発、学術研究などさまざまなシーンでご活用いただけるようになりました。予防に向けた研究や予防施策の実施のため、今後も引き続き注力し、精緻な分析と情報発信に努めたいと思っております。なお、当社ホームページでもデジタルブック形式の見やすい方法で提供しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。

また、新子会社として設立したJASMINEにおいては、獣医療分野における世界水準の臨床・研究・教育機関として先進医療の提供および、新たな涙を生まないためにその原因や対策、予防に関する研究を重ねてまいります。

このほか、従前から取り組んでおりました「STOP」プロジェクトにおいて、それまでの「STOP誤飲」に加え、前期から「STOP熱中症」という取り組みも開始しました。人間よりも地面に近い位置で生活するどうぶつにおいてペットオーナーが気づきにくい注意点や、どうぶつの毛質に応じて異なる予防情報等を発信することで、どうぶつの熱中症の減少を目指しております。

このように、予防に関する情報をグループとして蓄積し、適時適切にその情報を発信することで「涙を減らし、笑顔を生み出す」予防型保険会社としてアニコムの社会的価値や存在感を高め、「種を超えた家族」であるどうぶつと人間との幸せな共生を達成する一助となれるよう取り組んでまいります。

2015年3月期に向けて

今年度も、前期と同じ3つの重点施策により一層注力いたします。1つ目として「損害率のコントロール」について、すでにくつかり施策を実行しております。その1つとして、2008年のアニコム損害保険株式会社開業以来初となる保険料の改定を実施いたします。新保険料はすでに2014年6月以降の契約から適用されておりますが、継続契約の方は契約更改時以降から新保険料となるため2015年3月期の収益改善効果は一部にとどまるものの、翌2016年3月期にはほぼすべての契約者が新保険料となることから収益改善に大きく寄与する見込みです。また、4月から新規引受年齢の引き下げも行ってまいります。損害率が上昇する高齢どうぶつについては、若い時からご加入いただいているご契約は従来同様年齢制限なく継続したお引受けが可能です。高齢どうぶつの新規引受は停止いたしました。

2つ目の「新規契約獲得基盤の拡大強化」については、ペット保険募集の主力チャネルであるペットショップ代理店との一層の関係強化を図ります。特に他の地域と比較し営業開拓の余地があると見込まれる東北地方において、仙台に東北支店を開設し、より機動性のある営業を展開してまいります。

3つ目の「新規事業の強化」については、2013年度に立ち上がったJASMINEおよびアニレセFの2つの新規事業に対して適切に経営リソースを配分することで、ペット保険事業以外の収益源泉として、早期に利益貢献できる体制を強化してまいります。

これらの施策をはじめとして、今年度もペット保険事業を確実に成長させながら、新規事業の強化にも取り組んでまいります。

今後とも、株主のみなさまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 当年度末 | 前年度末 |
|--------------|--------------|--------------|
| | 平成26年3月31日現在 | 平成25年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 現金及び預貯金 | 4,454 | 4,986 |
| 有価証券 | 11,367 | 9,272 |
| 有形固定資産 | 118 | 86 |
| 無形固定資産 | 477 | 373 |
| その他資産 | 2,112 | 1,940 |
| 繰延税金資産 | 116 | 219 |
| 貸倒引当金 | △ 13 | △ 7 |
| 資産の部合計 | 18,634 | 16,872 |
| 負債の部 | | |
| 保険契約準備金 | 8,768 | 7,702 |
| その他負債 | 1,520 | 1,292 |
| 賞与引当金 | 86 | 69 |
| 特別法上の準備金 | 10 | 2 |
| 負債の部合計 | 10,385 | 9,067 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 4,282 | 4,238 |
| 資本剰余金 | 4,172 | 4,128 |
| 利益剰余金 | △ 147 | △ 571 |
| 自己株式 | △ 0 | △ 0 |
| 株主資本合計 | 8,306 | 7,795 |
| その他の包括利益累計額 | △ 57 | 9 |
| その他有価証券評価差額金 | △ 57 | 9 |
| 純資産の部合計 | 8,248 | 7,805 |
| 負債及び純資産の部合計 | 18,634 | 16,872 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当年度 | 前年度 |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで | 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで |
| 経常収益 | 18,366 | 16,186 |
| 経常費用 | 17,633 | 15,348 |
| 経常利益 | 733 | 837 |
| 特別損失 | 8 | 2 |
| 税金等調整前当期純利益 | 724 | 835 |
| 法人税及び住民税等 | 142 | 64 |
| 法人税等調整額 | 134 | 130 |
| 法人税等合計 | 276 | 194 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 447 | 640 |
| 当期純利益 | 447 | 640 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当年度 | 前年度 |
|---------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで | 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,009 | 1,507 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,052 | △ 1,852 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 60 | 85 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 17 | △ 260 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,283 | 1,543 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,301 | 1,283 |

連結株主資本等変動計算書

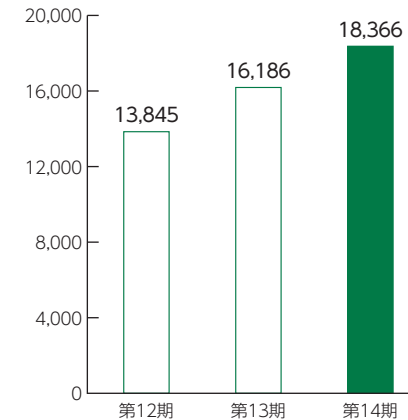
(当年度 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | 純資産合計 |
|---------------------------|-------|-------|-------|------|--------|--------------|---------------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 平成25年4月1日残高 | 4,238 | 4,128 | △ 571 | △ 0 | 7,795 | 9 | 9 | 7,805 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 43 | 43 | | | 86 | | | 86 |
| 当期純利益 | | | 447 | | 447 | | | 447 |
| 新株発行無効による減少 | | △ 24 | | | △ 24 | | | △ 24 |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替 | | 24 | △ 24 | | — | | | — |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | | △ 67 | △ 67 | △ 67 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | 43 | 43 | 423 | — | 510 | △ 67 | △ 67 | 442 |
| 平成26年3月31日残高 | 4,282 | 4,172 | △ 147 | △ 0 | 8,306 | △ 57 | △ 57 | 8,248 |

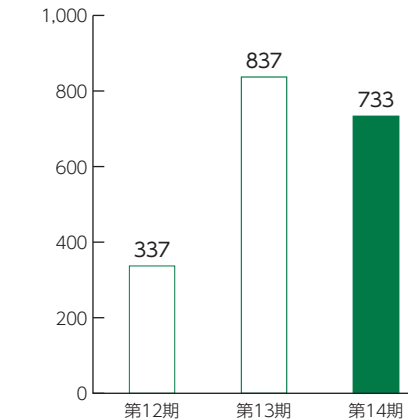
経常収益

(単位：百万円)



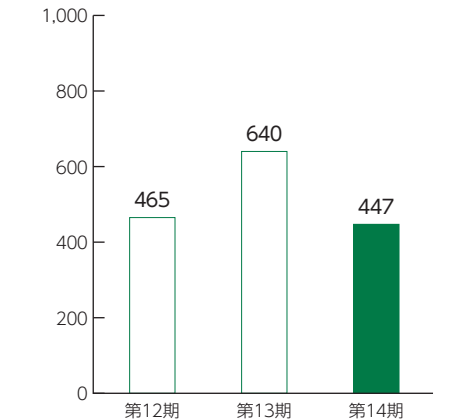
経常利益

(単位：百万円)

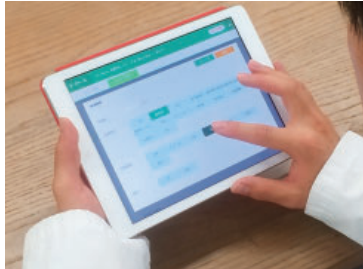


当期純利益

(単位：百万円)



クラウド型動物病院システム（商品名：アニレセF）の販売を開始



アニコム パフェ株式会社は、現在国内約1,800病院に提供している動物病院向け顧客管理ソフトウェア「アニコムレセプター」に、電子カルテシステムなどの診療支援や経営支援の機能を大幅に追加した業界初のクラウド型動物病院向け医療支援サービス「アニレセF」を富士通株式会社と共同で開発し、2013年12月から販売を開始いたしました。今後は、本サービスを利用する動物病院がクラウド上で得られる統計情報などを活用できるサービスのほか、病院間での診療情報の共有や医療連携等、どうぶつ医療とICTにおける実績、経験・ノウハウ、技術を活用したサービスを展開してまいります。「アニレセF」の提供を通じて、動物病院がより高品質などうぶつ医療を提供できる支援システムの構築と、どうぶつ医療を起点として飼い主とペットが安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。また、トリミングサロン、ペットホテル、ペットショップといったペット関連企業向けのサービスにも取り組んでいく予定です。

保有契約数が50万件を突破



アニコム損害保険株式会社が取り扱うペット保険「どうぶつ健保」の保有契約件数が、2014年3月末時点で50万件を突破いたしました。「どうぶつ健保」は、被保険者が「どうぶつ健康保険証」を対応病

院の窓口で提示すると、自己負担分をお支払いいただくだけで保険金請求手続きが完了となります。人間の健康保険同様にご利用いただける利便性や、契約どうぶつの写真が入った「どうぶつ健康保険証」などを多くの方にご支持いただいております。これからも、より多くのどうぶつ、飼い主様に便利にご利用いただけるよう、対応病院の拡大、適正・迅速な保険金の支払いなどサービスの向上に努めてまいります。

高知オフィス・東北支店を開設

アニコム損害保険株式会社における新たな活動拠点として、2013年7月に高知オフィス（高知県高知市）、2014年4月に東北支店（宮城県仙台市）を開設いたしました。高知オフィス



では、これまで東京本社に集中していた保険金支払業務を行い、業務の分散化を図るとともに、2014年4月からはコールセンター業務も開始いたしました。東北支店では、東北地方に密着したきめ細やかな営業活動を展開し、ペット保険のさらなる普及拡大を目指すとともに、コールセンターを設置することで、お客様へのサービスの向上を図ってまいります。なお、現在の営業拠点は、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の6拠点となり、全体では保険金支払業務およびコールセンター業務を行う高知を加えた7拠点となりました。

日本どうぶつ先進医療研究所株式会社を設立



アニコムグループ4番目の子会社として、2014年1月に日本どうぶつ先進医療研究所株式会社を設立いたしました。当社グループの中核事業であるペット保険の健全な持続的成長を支えるべく、獣医療分野における基礎研究の推進、科学的根拠に基づく診療方法の確立、先進医療の開発に向けた臨床研究等を行うことを目的としております。また、当該医療技術の研究に際しては、国内外の獣医大学と連携し、我が国全体の医療技術発展に資する活動とする方針であります。なお、本格的な臨床・研究の開始は2014年8月を予定しております。

次世代認定マーク「くるみん」を取得



アニコム損害保険株式会社は、2013年8月29日付で厚生労働省・東京労働局より、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「子育てサポート企業」に認定され、認定マークの「くるみん」を取得いたしました。この認定は、社員の仕事と育児の両立支援、および働きやすい職場環境の整備を目的とした「行動計画」を策定・実行し、かつ同法で定められた基準を満たした企業に与えられるもので、「所定外労働時間の削減」「有給休暇の取得促進」「育児休業中の社員への情報提供」「育児関連制度をはじめとした人事諸制度に関する社内ニュースレターの発信」など、各施策への取り組みが評価されたことによるものです。「くるみん」マーク取得を機に、今後も社員一人ひとりが個性をもって能力を発揮することができるよう子育て支援を含むワークライフバランス実現に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

当社ホームページでは、株主・投資家のみならずみなさまに向けた企業情報・財務情報をはじめ、当社グループのCSR活動や経営パラメーター、広報・IRブログなどをご覧いただけます。当社グループをさらにご理解いただくためのツールとしてぜひ活用ください。



IR情報では、財務ハイライトやIRライブラリ等をご紹介します。また、「IR情報」トップページには半期毎に社長インタビューを掲載し、株主・投資家のみならず「わかりやすいIR情報」をお伝えしてまいります。
<http://www.anicom.co.jp/>

株主のみなさまの声を聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8715

いいかぶ

空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com
「e-株主リサーチ事務局」

株式の状況／会社概要

株式および株主の状況 (2014年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 48,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 17,356,000株 |
| 当期末の株主数 | 3,108名 |

大株主の状況

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,523 | 14.5 |
| 日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,772 | 10.2 |
| KOMORIアセットマネジメント株式会社 | 1,220 | 7.0 |
| ソニー損害保険株式会社 | 1,200 | 7.0 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 910 | 5.2 |
| C B C 株 式 会 社 | 666 | 3.8 |
| UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT | 581 | 3.3 |
| 小 森 伸 昭 | 447 | 2.6 |
| ジェーピー モルガン チェース バンク 380084 | 367 | 2.1 |
| アニコム ホールディングス従業員持株会 | 319 | 1.8 |

(注) 持株比率は、自己株式(610株)を控除して計算しております。

会社概要 (2014年3月31日現在)

| | |
|-------|--------------------------------|
| 社 名 | アニコム ホールディングス株式会社 |
| 設 立 | 2000年7月5日 |
| 資 本 金 | 4,282百万円 |
| 本 社 | 〒161-0033 東京都新宿区下落合一丁目5番22号 |

役員の状況 (2014年6月25日現在)

| | |
|-----------|-----------|
| 代表取締役社長 | 小 森 伸 昭 |
| 常務取締役 | 百 瀬 由 美 子 |
| 取締役 | 須 田 一 夫 |
| 取締役(社外) | 小 林 英 三 |
| 取締役(社外) | 中 出 哲 |
| 常勤監査役(社外) | 猪 俣 吉 彦 |
| 監査役(社外) | 岩 本 康 一 郎 |
| 監 査 役 | 藤 田 信 一 郎 |
| 監査役(社外) | 岡 部 紳 一 |

株主メモ

| | |
|---------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同 連 絡 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) |

| | |
|------|---|
| 公告方法 | 電子公告にて行う |
| | 公告掲載URL http://www.anicom.co.jp/ |
| | ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。 |